



コスモスのくきは、土にさしたら根は出るの

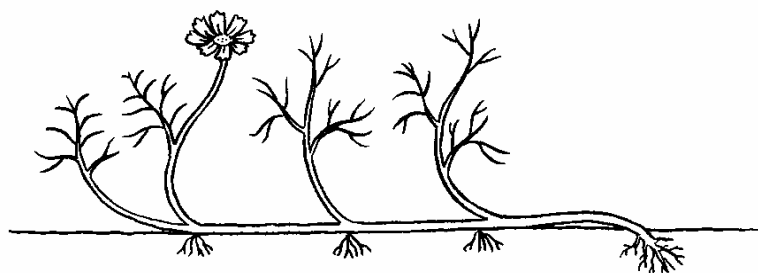
コスモスは、じょうぶな草花

コスモスは、雑草の仲間に入れられることもあるくらい、じょうぶで、よくふえる植物です。今は、品種改良された、早咲きのものなども出てきています。でも、もともとは、秋に種が落ち、次の年の春に芽を出し、夏の終わりごろから花が咲きます。背たけも大きくなるため、風や雨で、たおれたり、くきのとちゅうから折れたりすることが多い花です。

くきが地面にふれていると、根が出てくる

コスモスは、とてもねばり強い植物で、どろにまみれてたおれていても、すぐ、花のついたくきの先が、まっすぐ上に向いて、立ち上がってきます。そして、何日かして、くきをひっぱってみると、曲がって地面にくっついたくきの部分から、根が出ているのがわかります。こうして、コスモスはふえていくのです。

コスモスが群れて咲いている所で観察すると、くきのとちゅうから、ちぎれてしまって地面にたおれているものもみつけられます。ところが、このちぎれたものの先が曲がって、上を向き、花が咲いています。よく見ると、切れたくきの地面にくっついた部分に、小さい根が出ています。これでわかるように、コスモスは、水をたっぷりあたえてやれば、くきを土にさしておくだけで、根が出るのです。（監修・矢野 亮）



たおれたくきから根を出すコスモス

